

いい家塾のいい家見学会

千里ニュータウンからわずか15分ほど車を走らせると、深い山並みに囲まれた止々呂美の里。都会と田舎が融合したその街で、いい家塾4期生・Nさんの暮らしが始まります。そよぐ風、沈む夕日、薪ストーブの温もり。燃える紅葉の山からは、鹿が駆けぬけることも。そんな四季折々を楽しむ家がまもなく完成します。

(明月社・山岸飛鳥)

右の工事中の写真では、ちょうどシートに隠れていますが、大きな窓がこの家の最大の特徴です。せっかく降り注ぐ太陽を、精一杯受け止めようという住まい手であるNさんの希望であり決意です。

夏は少々暑いと思います。冬の夜はいくぶんの熱損失もあります。それでもなお、自然を慈しみたいというNさん一家の心が、この家のデザインの核心です。

そしてその大きな窓からは、見下ろす山並みに夕日が沈みます。



壁はドイツ漆喰と土佐和紙です。木と土と和紙の織りなす柔らかい空間は、言葉では表現できません。体験してみてください。

オーダーメイドの木のキッチン、調理器具であると同時に家の中心。ウォールナットの天板が空間を引き締めています。

詳しくは、いい家塾事務局まで

TEL 06-6773-3423

FAX 06-6773-3420

e-mail info@e-iejuku.jp

家づくりに関わったスタッフ

コーディネイト：いい家塾 塾長 釜中明
設計・監理：木の家プロジェクト 明月社 山岸飛鳥
建築施工：(株)山本博工務店 代表 山本啓二
F S C 木材提供：高知県梶原町森林組合

2009. 4. 19 SUN

PM1:00 千里中央駅 北改札 集合

Pm1:30 現地にて説明会

窓の話ついでに「もくまど」のことを。ほとんどの窓は、レールはアルミ、窓枠は木、という「もくまど」です。耐久性と木の良さを両立させた優れものです。

リビングの大窓にはもっとスゴイ窓が・・・これは見てのお楽しみ。

大きな窓から差し込む太陽を受け止めるのは、分厚い杉の床。2枚合わせて5.5センチ。冬の深い日差しを受けた床の木はしっかり蓄熱します。

しかも、2枚の床板のあいだには温水パイプが。無垢の木の床暖房はほんのりと暖かく、薪ストーブと力を合わせて家全体を暖めます。

窓の外に広がる景色 晴れた日には瀬戸内海が見渡せます